

■ 神のかたち・神の姿とは

神様の品性や性質、神様の内面的なイメージを意味します。神様は三位一体の関係の中で交わりをもっておられます。

創世記 1 章全体に描かれている神様のかたち（姿）は、働かれる神でした。六日間、神様は天地万物をデザインし、すべてを自ら造られたからです。創造のわざは、神様の働きでありました。

2 章と 3 章には、被造世界で働く神様の姿も記されています。地のちりて男と女を造られ、エデンに園を設け、アダムとエバのために革の衣を造られました。

■ メッセージのポイント

(1) 神様は、ご自身のかたちとして、ご自身の似姿に人を造りました。

(2) 働きに関する誤解：働かないといけないのは、人が罪を犯したせいである？

(3) 神様はアダムに、ご自身の代理人としての文化を造っていくように命じられました。